



見 悟

・高齢者の医療・福祉・交通体系の進展について
・町の基幹産業である酪農について

高齢者の医療・福祉・交通体系の進展について

【質問】 高齢者や町民の「たまり場」的なものは出来な
いか。

【町長】 必要性は認識しているが、場所やサービス提供の体制など解決すべき課題が多い。

【質問】 平成30年4月から幌延駅に作られるものはどう
いうものになるか。

【町長】 移住定住のPR。地
場産業特産品等を味わって
もらえるサロンの広場を
考えている。

【質問】 老人福祉センターの
サロンの活用などはどう
か。

【町長】 カラオケ定例会など
が開催されており、有効活
用されていると考えている。
町の基幹産業である酪農について

【質問】 酪農の問題ですが、
Iターン、Uターンへの取
り組みも考えられないか。

【町長】 重要な課題となると
思う。浜中町などの例もあ
り、調査をした。農業だけ
でなく、商工業者を含めて
就業支援をするということ
も勉強しながら研究したい
が、今のところは検討課題
としては無い。

【質問】 今、道北ではヨーネ
病が多くでている。幌延町
では出ていないが、どう考
えているか。

【町長】 昨年度も防疫舎の事
業をした。幌延町家畜伝染
病救済対策互助会も作った。

【質問】 検査体制は早くなっ
ているが、輸入牛などでヨ
ーネ病が入っている。公共牧
場にも入っているが。

【町長】 クリーン化するの
に長い期間と費用、尽力が
かると認識している。輸入
牛から入っているとの認識
はある。

【質問】 過去にも、安愚楽牧
場がヨーネ病を多発した例

がある。和牛でもホルスタ
インでも出ている。
【町長】 農協、農家さんと
も相談しながら、どう取
組みを進めていくかを相談
してやって行きたい。

【町長】 問寒別地区の新たな店舗の
サービス提供方法について
第5次幌延町総合計画にお
ける情報発信について



斎 弘 孝

・問寒別地区の新たな店舗の
サービス提供方法について
第5次幌延町総合計画にお
ける情報発信について

問寒別地区の生活店舗について

【質問】 問寒別地区生活店舗
開店まで約1カ月休業とな
るが、心配ではないか。

【町長】 交渉先とは店舗開設
について合意はしているが、
契約には至っていないとの
農協より報告があり、町に
は契約後に相談するとのこ
と。一時的休業期間中の地
域住民の不安解消にどのよ
うな対応ができるか考えた
い。

【質問】 高齢者の買い物支援
はどう考えるか。

【町長】 ホームヘルプサービ
スの中で買い物支援を実施
しているが、その他の高齢
者には、サービスを提供す
る業者もなく、今は患者輸
送バスを利用していただき
たい。

【質問】 生活交通対策協議検

相談しながら、どう取
組みを進めていくかを相談
してやって行きたい。

【町長】 常任委員会での協議
内容については、報告を受
けているが、限られた交通
資源を最大限有効に活用で
きる交通ベストミックスの
構築を念頭に検討を深めた
い。また、JR北海道の単
独維持困難路線の議論進捗
とも合わせる。

【質問】 SNS等の情報発信について

【町長】 観光・行政サービス
に今後どうSNS・フェイ
スブック等の活用を取り入
れていくか。

【町長】 現在、地域おこし協
力隊がフェイスブックとツ
イッターを活用しており、
観光を入り口に移住・定住
に繋ぐことができるような
内容へ拡充することができ
ればと考えている。

▽幌延町子ども医療費の助
成制度の改正について
平成28年4月から、子ど
も医療費助成の対象者を15
歳から18歳に拡大している
が、これに特例規定を設け、
特別な理由が認められる受
給対象者には、最大20歳ま

第9回
まちづくり常任委員会
12月6日

○調査事項

▽幌延町医療職員養成修学
資金貸付制度の見直しにつ
いて

この見直しは、各医療職
員の就学資金貸付月額の増
額と新たに貸付金の遡及を
設けようとする改正で、医
師、薬剤師、診療放射線技
師、臨床検査技師、保健師、
助産師、看護師、准看護師
の8つの医療職種について、
修学資金の貸付制度がある
が、これを現行の2倍の金
額に改正しようとするもの
である。なお、貸付期間は
正規な就学期間を上限とし
ている。